

令和6年3月定例会 一般質問通告内容

通告番号：1番 通告事項：1／1項目 議席番号：3番 議員名：山口 隆

質問事項：大崎観光施設の売却・譲渡および指定管理について

大崎観光施設については、令和4年9月29日に「川棚町観光施設運営あり方検討委員会」からの答申を受け、「川棚町観光施設運営検討会議」が組織され、大崎観光施設のあり方に関する基本方針について検討された。それによると、くじゃく荘としおさいの湯は売却・譲渡、くじゃく園と大崎自然公園交流広場および大崎海水浴場は公募による指定管理制度、キャンプ場はPFI（コンセッション方式）となっており、令和5年10月7日付でホームページおよび新聞等で公表された。

現在、その手続き等について庁舎内で検討されているが町民からは、売却・譲渡によりくじゃく荘・しおさいの湯が閉館されるのではないかなど危惧する声もあり、大崎観光施設の今後のあり方について不安視されている。

大崎観光施設の今後のあり方については、方針、具体的スケジュールなどを含め丁寧な情報発信が必要かと思われる。

産業建設文教委員会を代表して以下の点について尋ねる。

- ① 売却、譲渡および公募による指定管理制度のメリットおよびデメリットをどのようにとらえているのか。また、町民への情報発信は。
- ② 売却、譲渡の公募要項の主な内容は。
- ③ 現在の指定管理者である観光協会と協議がなされていると思われるが、その協議内容と公募要項に観光協会からの要望等が盛り込まれるのか。
- ④ 現在の指定管理期間は令和7年3月31日までであり、令和7年4月1日から新たな事業者等に引き継がれることになる。引継ぎがスムーズになるよう移行期間などは考えているのか。
- ⑤ 令和7年4月以降の観光協会のあり方は、どのように考えているのか。
- ⑥ 令和7年4月から民間事業者等による大崎観光施設の運営が始まり、従来と異なる大崎観光になるとと思われる。町として大崎観光をどのように活性化していく考えか。

答 弁：町 長

通告番号：2番 通告事項：1/2項目 議席番号：1番 議員名：堀田 一徳

質問事項：緊急通報電話設置事業について

高齢者や身体が不自由な人が、急病やケガなどで緊急事態に陥った時や一人暮らし高齢者の孤独感を和らげ安否を確認するため「緊急通報システム」がある。今後需要が増える可能性があることから以下の点を尋ねる。

- ① 一人暮らし高齢者、障がい者の本町での世帯数は。
- ② 「緊急通報システム」の年間稼働、受信状況は。
- ③ 「緊急通報システム」の誤報件数は。
- ④ 「緊急通報システム」は55台購入し機器の貸し出しがおこなわれているが増設の考えは。
- ⑤ 設置するには3名程度の協力者が必要とされているが、近くに近親者がいない場合の対応は。
- ⑥ 体調不良は深夜から早朝に発生することが多い。現場到着時、玄関が施錠されている時の対応は。

答 弁：町 長

通告番号：2番 通告事項：2/2項目 議席番号：1番 議員名：堀田 一徳

質問事項：町の事務用封筒などに広告を

町の事務用封筒などを広告媒体として活用し、広告掲載することにより町の新たな財源を確保し、町民サービスの向上及び地域活性化を図るために、町の業務で使用する事務用封筒などに広告を募集する考えはないか。

答 弁：町 長

<p>通告番号：3番 通告事項：1/2項目 議席番号：9番 議員名：堀池 浩</p>
<p>質問事項：緊急避難所運営について</p>
<p>元旦に発生した能登半島地震の報道に接するたびに、わが町の緊急避難所運営に課題を感じた。</p> <p>災害対策として事前避難をおこなうが、事前であるため避難者へは水分確保のペットボトルや、毛布類を持参するように発信しているが、緊急の場合は着の身着のままでの避難となる。どの地域でも地震や土砂災害などの発生が考えられる中、本町でも緊急対応が必要となっている。</p> <p>そこで、以下のことを尋ねる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 指定避難所9か所で収容できる人数は2,650人となっているが、非常食はアルファ米や乾パン、レトルトカレーなど1,500人の3食分である。増量し各避難所に配置する考えは。 ② 簡易ベッドは現在10台確保されているが、あまりに少ないと感じる。追加できないか。 ③ プライバシー確保のためパーテーションは必要と思うが、1枚もない。どのように考えているのか。 ④ 指定避難所9か所のうち、畳の部屋があるのは総合文化センターといきがいセンターの2か所しかなく、学校や体育館はフローリングで床が冷たいためユニット畳が必要と思うが、確保する考えは。 ⑤ 避難所を開設した自治会との連携はどうするのか。
<p>答 弁：町 長</p>

<p>通告番号：3番 通告事項：2/2項目 議席番号：9番 議員名：堀池 浩</p>
<p>質問事項：AEDの活用について</p>
<p>突然死の原因となる心室細動（心臓けいれん）に対して、電気ショックをおこない、心臓を正常な動きに戻す自動体外式除細動器（AED）について、以下のことを尋ねる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 町の公共施設にあるAEDは屋内に設置されているため、閉館時には使えない。屋外での緊急事態にも24時間365日使用できるよう屋外設置できないか。 ② AEDを使用する際、傷病者の胸部の素肌に電極パッドを貼り付けるが、女性に対しての使用をためらうケースがあるため、傷病者の胸部を覆う三角巾を配備できないか。 ③ 公共施設やコンビニなどにAEDが設置されているが、設置されている場所から遠距離となっている地域があるため、自治会公民館等にAEDを設置する考えはないか。 ④ 心肺蘇生訓練も含め、防災訓練を町全体で行う考えは。
<p>答 弁：町 長</p>

質問事項：地域公共交通の進捗状況について

令和4年9月定例会で自治会バスを含めた地域公共交通について質問し、答弁として、法定協議会をつくり町全体のあり方を検討し、地域交通の総合計画を策定するとの答弁を得ている。

過去に西部地区で協議されていた自治会バスは、地域の高齢者など誰一人も取り残さない体制づくりを目指して協議されていた。町からの支援体制も示されたが、最終段階をクリアできず、断念された経緯があり、町主導の地域公共交通に期待が高まっている。

現在、川棚町地域公共交通活性化協議会が開催されているが、その進捗状況について、以下の点を尋ねる。

- ① 川棚町地域公共交通活性化協議会の構成メンバーと人数は。
- ② 何回会議を開催したのか。また、その協議内容は。
- ③ 町民の意見は反映されているのか。
- ④ どのような形態で、いつから運行されるのか。
- ⑤ 町負担経費と利用者負担は。
- ⑥ 運行前に町民への説明会は開催するのか。また、周知の方法は。

答弁：町長

<p>通告番号：5番 通告事項：1／2項目 議席番号：10番 議員名：田口 一信</p>
<p>質問事項：地域活動団体の活性化について</p>
<p>婦人会及び老人クラブという、地域を単位として活動している団体は、地震や洪水などの災害時の「共助」の主体として頼りになる存在と思われるが、最近は、会員になる人が少なく、また役員になる人も少なくなって、組織が先細りの傾向にある。</p> <p>婦人会も老人クラブも、法律で設置が決められているものではなく、入会も任意であるため、人々の価値観が多様化するに伴って、現在の状況が生まれてきているものと考えられる。</p> <p>婦人会は社会教育、老人クラブは老人福祉の範疇に位置付けられるようであるが、いずれも、行政の単なる対象というよりは、かなり行政に協力している団体であると思う。こういった団体の活性化について、基本的考え方及び具体的方策を問う。</p> <p>なお、少し性格が異なってくる可能性もあるが、地域を越えて組織されている同様な団体を婦人会や老人クラブに取り込むことについて、どう考えるか、併せて問う。</p>
<p>答弁：町長、教育長</p>

<p>通告番号：5番 通告事項：2／2項目 議席番号：10番 議員名：田口 一信</p>
<p>質問事項：「防農連携」について</p>
<p>「防農連携」は、私の造語である。農業の労働力として自衛隊を活用する方策すなわち自衛隊の演習の一部として農作業を行うことが有効ではないか、ということである。</p> <p>このことにより、次のメリットが考えられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 国土を防衛する実力組織（特に陸上自衛隊）は、まず我が国土を熟知する必要がある。田畑を耕すことにより、我が国土を良く知り、愛着も沸き、防衛力の強化につながる。 ② 農業に若い労働力を確保することによって、農業の振興発展と国土保全及び自給率向上を図ることができる。また除隊隊員の就農促進につながる。 ③ 耕作放棄地あるいはほとんど耕作できていない田畑を使用して、できた作物は自衛隊の食料にすることにより、防衛費の節減ができる。 <p>小隊程度の規模で、本町で試行してはどうか。</p>
<p>答弁：町長</p>

質問事項：観光事業と地域振興等について

第6次川棚町総合計画（概要版）施策基本目標4「産業の振興で暮らしをゆたかに」の中に「観光振興に関する調査・研究に取り組むとともに、既存の観光施設の整備充実や、本町固有の自然や歴史文化を観光レクリエーションの素材として活用します。また、地域産業などとの連携を図りながら体験型観光の振興を図ります。」と書かれているが、本町の観光事業など総合的地域振興の取組の現状について以下のことを尋ねる。

- ① 本町の観光振興に関するマーケティングやブランディングを調査研究するのはどの部署なのか、またデータは町内で共有し有効活用されているか。
- ② 観光振興、移住定住促進事業、企業誘致、ふるさと納税等、これらの事業は町の魅力のPRが最も重要なテーマであるという点で非常に関係性が深いと考えるが、これらを大枠でとらえ総合的かつ戦略的に取り組む考えはないか。
- ③ 新しい形の観光に関する組織を立ち上げ、広域連携で観光振興をおこなうなどの考えはないか。

答 弁：町 長

<p>通告番号：7番 通告事項：1／3項目 議席番号：6番 議員名：辻 清人</p>
<p>質問事項：石木ダムについて</p>
<p>町長は、川棚川の氾濫による災害をなくすために、石木ダムが必要だと答弁されているが、他の水害対策は検討されているのか。</p> <p>そこで、以下の4点を尋ねる。</p> <p>① 1990年7月2日の洪水を例にあげられるが、内水氾濫とされている。川棚川の氾濫ではないと考える。この認識はあるのか。</p> <p>② 野口川の洪水対策をどのように考えているのか。中組では、危険なので手摺を付けてほしいとの要望がある。</p> <p>③ 平島の住民の方々に聞くと、河口が非常に浅くなっている。以前は浚渫工事をしていたが、町は県に対し浚渫工事を要望しているのか。</p> <p>④ 広報かわたな2月号の15ページに川原地区の方々を訪問したとの記事だが、どんな話になったのか。新聞の論説記事にあるように、問題の根本には、合意がないまま、強引なやり方で進めてきた県の姿勢にある。町長はどう考えているのか。</p>
<p>答弁：町長</p>

<p>通告番号：7番 通告事項：2／3項目 議席番号：6番 議員名：辻 清人</p>
<p>質問事項：交通道路標示について</p>
<p>道路の標示が消えて大変危険であるという相談があった。石木交差点コンビニの近くの白線が消えて事故の危険がある。小学校区等の横断歩道の白線など消えかかっている。</p> <p>現状を把握しているのか、いつ補修をするのか尋ねる。</p>
<p>答弁：町長</p>

<p>通告番号：7番 通告事項：3／3項目 議席番号：6番 議員名：辻 清人</p>
<p>質問事項：住宅、空き家対策について</p>
<p>空き家対策について、町内の空き家の数を把握しているのか、その対策を尋ねる。</p> <p>リフォーム制度を設置して住む家や空き家の手入れを支援してはどうか。</p>
<p>答弁：町長</p>